

2021年4月28日
全日本空輸株式会社
株式会社ジャムコ

世界初！手を触れずに出られる機内トイレのドアを開発 ANA 国内線に順次導入

～あらゆるシーンで清潔・衛生的な環境を提供する取り組みを加速させます～



全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:平子 裕志、以下「ANA」と)、株式会社ジャムコ(本社:東京都立川市、代表取締役社長:大喜多 治年、以下「ジャムコ」)は、手を触れずに出られる機内トイレのドアを世界の航空会社として初めて開発し、2021年5月1日よりANA国内線機材に順次導入します。

現在、ANAでは「ANA Care Promise」として、すべてのお客様に安心・快適に飛行機をご利用いただけるよう、あらゆるシーンで清潔・衛生的な環境を提供する取り組みを推進しております。

その中で、お客様のご意見から「トイレのドアを指で触れることへの不安」があることがわかりました。そこで、昨年度より、航空機内装品メーカーのジャムコと共同で手を触れずに出られる機内トイレのドアの開発に取り組んでまいりました。お客様の声を取り入れながら、試作品の改良を重ね、各種試験・承認を経て、今回実用化に至りました。

(1) 概要

新たな機内トイレのドアは、内側についているドアロックのノブを大型のものに変更し、ドアの引き手部分にハンドルを追加で装着したことにより、手のひら部分などでロックを解除し、ドアハンドルを引いて、トイレから出ることができるようになりました。

また、評価試験中(*)にご体験いただいたお客様のご意見などを取り入れ、トイレ内には使用方法を記載したシール(プラスチック)も貼付し、どなたでもご利用いただきやすいように工夫をしました。

(*) 評価試験について: https://www.anahd.co.jp/ana_news/2020/09/17/20200917-1.html



(2) 導入時期

2021年4月30日夕方に整備作業完了。5月1日より国内線に導入予定。

(3) 対象機材

国内線中・大型機材を中心に導入。

ボーイング 787-8 型機 11機、ボーイング 787-9 型機 2機、ボーイング 777-200 型機 8機 (合計 21機)

※今後順次導入予定。その他の機材についても今後導入に向けて検討中

ANA は今後も空港や機内などさまざまなシーンにおいて、お客様に清潔・衛生的な環境を提供する取り組みを強化し、安心・快適なサービスの提供に努めてまいります。

※ ANA Care Promise の取り組みの詳細については、以下のページをご参照願います。

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/coronavirus-travel-information/>

以 上

<お問い合わせ先>

全日本空輸株式会社 広報部 TEL: 03-6735-1111

株式会社ジャムコ 広報担当 TEL: 042-503-6476